



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト：ガソリン、ディーゼル油、電気代、タバコ等の値上げ

7月3～5日にかけて、エジプト政府は燃料、電気料金（一般家庭・工業向け）、タバコ・ビール・ワインの価格の引き上げを決定した。これまでスィーサー大統領をはじめとする主要閣僚が、財政赤字を削減するためには、歳出の約2割を占めるエネルギー補助金を削減しなければならないと発言していた。スィーサーが大統領に就任して早速の実施となる。

(注：1ポンド=10ピアストル、1米ドル=7.15エジプトポンド)

(1) 燃料価格の値上げ：7月4日発表、5日から施行

	(旧)	(新)	値上げ率
オクタン価 80	0.9 ポンド/ℓ	1.6 ポンド/ℓ	+78%
オクタン価 92	1.85 ポンド/ℓ	2.6 ポンド/ℓ	+41%
オクタン価 95	5.85 ポンド/ℓ	6.25 ポンド/ℓ	+7%
ディーゼル油	1.1 ポンド/ℓ	1.8 ポンド/ℓ	+64%
タクシー用 天然ガス	0.4 ポンド/m <sup>3</sup>	1.1 ポンド/m <sup>3</sup>	+175%

(2) 電気料金の値上げ：7月3日発表、7月使用分から適用

家庭向けの電気料金は、以下のように電気の使用量に応じて異なる。低所得層向けの最低電気料金（月間使用量 50kw/h まで）の改定は、数十年間で初めてとされる。政府発表によれば、5年間で電力部門に対する補助金を 67%削減する予定である。

月間電気使用量	時間あたり料金（新）
～50kw/h	7.5 ピアストル
51～100kw/h	14.5 ピアストル
101～200kw/h	16 ピアストル
201～350kw/h	24 ピアストル
351～650kw/h	34 ピアストル
651～1000kw/h	60 ピアストル
1000kw/h～	74 ピアストル

(3) タバコなど嗜好品の価格引き上げ：7月5日発表

国産タバコ	1.75～2.75 ポンドの値上げ (値上げ後の最安銘柄価格は8.75 ポンドとなる)
輸入タバコ	50%の課税
輸入・国産ビール	200%の課税
輸入・国産ワイン	150%の課税

評価

今次決定は、膨らむ財政赤字を削減するための決定である。革命の目標である国民生活の向上を実現するため、政府は公務員賃金の引き上げを実施し、今後は大型公共事業を推進していく予定である。この過程で膨らむ財政赤字を抑えるため、歳出の2割を占めるエネルギー補助金にメスを入れた。

賃金水準の低いエジプト社会において、食料・エネルギー補助金は1960年代から国民生活の経済的負担を軽減するための手段であり続けた。1970年代に補助金削減を決定したところ、物価高騰に怒った国民が暴動を起こした経験（1977年の「パン暴動」）もあり、歴代の政権は補助金削減にきわめて慎重な態度を取ってきた。

そのような補助金にメスが入れられた理由は、スィーサー体制下で実施する大型公共事業や公務員賃金の引き上げが、これまでになく財政赤字を増加させる危険性があるためである。また政権内には、スィーサー大統領の国民的人気が高い今のうちに、最も国民からの反発が強いと予想される政策を行なってしまう方が得策であるとの判断もあったと思われる。今回の値上げが国民の政権支持にどのように影響を及ぼすか注視する必要がある。

(金谷研究員)

---

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799